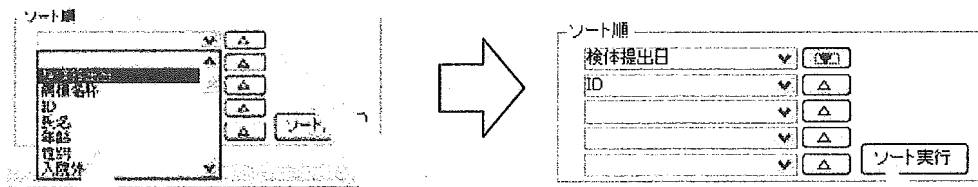


陽性リストの表示内容は以下の通りとなります。

| 項目 | 内容 |
|---------|--|
| 検体番号 | 該当する検査データの項目「検体番号」を表示します。 |
| 検体提出日 | 該当する検査データの項目「検体提出日」を表示します。 |
| ID | 該当する検査データの項目「ID」を表示します。 |
| 氏名(患者) | 該当する検査データの項目「カナ氏名」を表示します。 |
| 病棟 | 該当する検査データの項目「病棟」および病棟マスタに登録された「病棟名」を表示します。 |
| 診療科 | 該当する検査データの項目「診療科」および診療科マスタに登録された「施設独自の診療科」を表示します。 |
| 年齢 | 該当する検査データの項目「生年月日」が入力されている場合、計算により年齢が表示されます。 |
| 性別 | 該当する検査データの項目「性別」を参照し、該当する内容を表示します。 |
| 入院外来 | 該当する検査データの項目「入院外来」を参照し、該当する内容を表示します。 |
| 入院日 | 該当する検査データの項目「入院日」を表示します。 |
| 菌名 | 該当する検査データの項目「菌コード」及びマスタより参照された菌名称を表示します。 起因菌詳細リストの場合はあわせて「症状」も表示されます。 |
| 検査材料 | 該当する検査データの項目「検査材料名」及びマスタより参照された検査材料の名称を表示します。 |
| 主治医 | 該当する検査データの項目「主治医コード」を表示します。 |
| 氏名(主治医) | 該当する検査データの項目「主治医名」を表示します。 |

● 表示内容のソート

ソート順を設定することで、表示内容の順番を変更することができます。より上に設定されたものが、より上位にソートがかかります。設定されたソート内容は、次回に画面を開いたときにも有効となります。



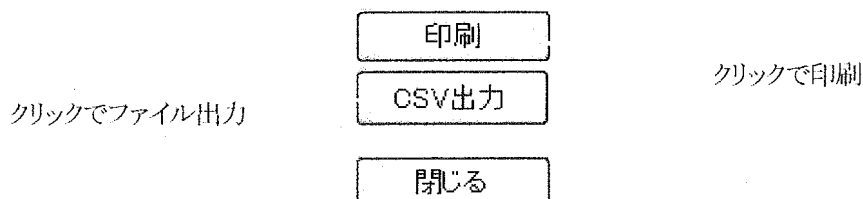
ドロップダウンより
項目を選択

並び順(△:昇順、▼:降順)を設定

クリックでソート実行

● 印刷と CSV 出力

画面に表示されている内容を印刷および CSV ファイルに出力します。



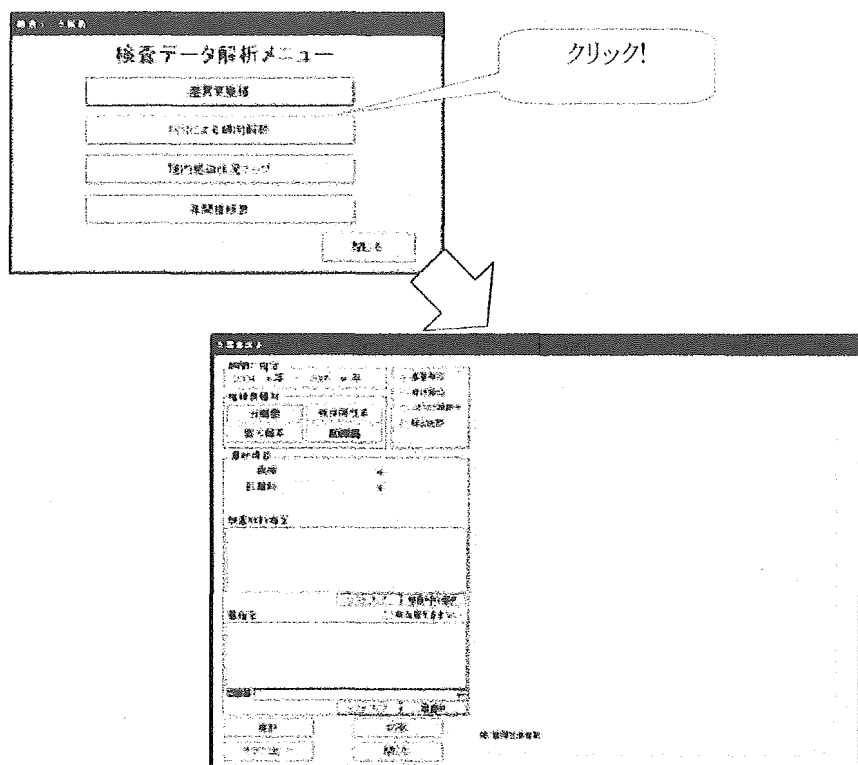
V. 年間推移表機能

① 「年間推移表」とは

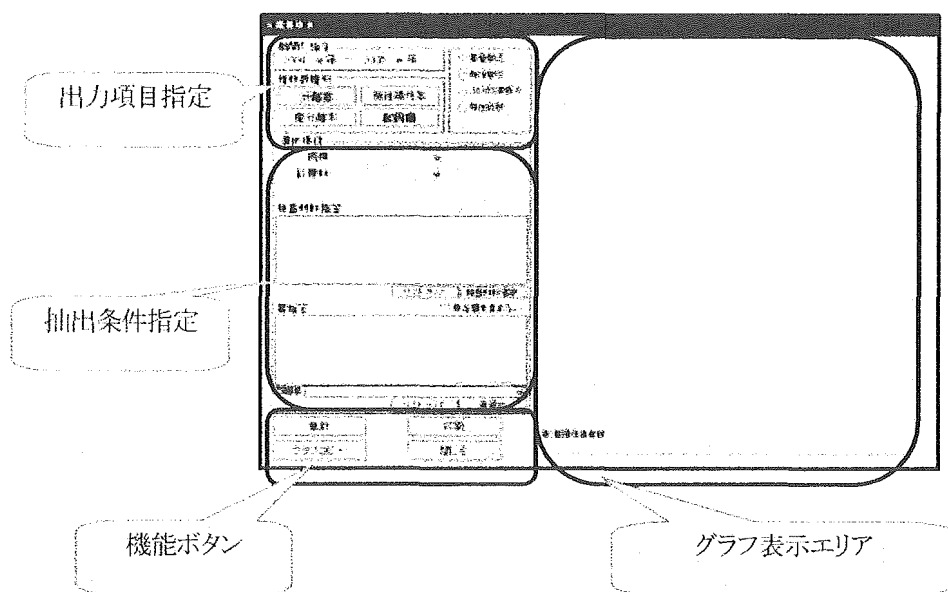
年間推移表とは、一年を通じての月ごとの推移をグラフで表示する機能です。複数の年を指定することで、それぞれの年の比較を行うこともできます。

「検査データ解析メニュー画面」の「年間推移表」ボタンをクリックすることで、「年間推移表画面」を表示することができます。

「PDI 解析メニュー画面」では、入力された検査データより計算し、菌出現傾向をグラフで表示します。



● 画面構成



② 出力項目の指定

出力項目は、年の指定及び何についてのグラフを表示するかを指定します。出力項目は以下の通りです。

| 項目 | 内容 |
|-------|--|
| 期間 | 表示する年を指定します。複数の年を指定した場合、それぞれのグラフが表示されます。 |
| 推移表種別 | <p>表示するグラフのデータを指定します。以下より選択可能です。また、それぞれの選択項目にはさらに詳細選択項目が存在します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分離菌 菌検出件数を表示します。詳細選択項目として以下を指定できます 患者単位: 月ごとの菌陽性患者数を表示します。 検体単位: 月ごとの菌陽性検体数を表示します。 JANIS 準拠: 月ごとの対象数を表示します。集計単位: JANIS。 検出総数: 月ごとの菌検出総数(重複排除なし)を表示します。 ・菌分離率 指定した菌検出件数(重複排除なし)を分子として、分母を詳細選択項目として指定します。菌の指定がない場合は検出された全ての菌が対象となります。 陽性患者: 月ごとの菌陽性患者数を分母とします。 総患者: 月ごとの検体提出患者数を分母とします。 陽性検体: 月ごとの菌陽性検体数を分母とします。 総検体: 月ごとの検体提出数を分母とします。 総分離菌: 月ごとの菌検出総数(重複排除なし)を表示します。 ・検体陽性率 集計単位毎の陽性率を表示します。 患者単位: 菌陽性患者数 ÷ 検体提出患者数 検体単位: 菌陽性検体数 ÷ 検体提出数 JANIS 準拠: 菌陽性患者・検査材料数 ÷ 検体提出患者・検査材料数 ・起因菌 集計単位毎に起因菌陽性率を表示します。 患者単位: 起因菌陽性患者数 検体単位: 起因菌陽性検体数 JANIS 準拠: 起因菌陽性患者・検査材料数 検出総数: 起因菌検出数 |

期間の指定

2004 ▼年 ~ 2005 ▼年

推移表種別

| | |
|------|-------|
| 分離菌 | 検体陽性率 |
| 菌分離率 | 起因菌 |

患者単位

検体単位

JANIS準拠※

検出総数

③ 抽出条件の指定

抽出条件の指定は、表示するグラフに対しての条件を指定します。条件を指定することで、特定の病棟や診療科、検査材料や菌についてのグラフを表示することができます。抽出条件は以下の通りです。

| 項目 | 内容 |
|------------|---|
| 病棟 | 検査データに入力があり、かつ病棟マスタに登録のある病棟のみ選択可能です。ドロップダウンより選択します。 |
| 診療科 | 検査データに入力があり、かつ診療科マスタに登録のある診療科のみ選択可能です。ドロップダウンより選択します。 |
| 症状(起因菌選択時) | 起因菌のグラフ表示をするときのみ選択可能です。「発熱」「発疹」「下痢」より症状を選択します。 |
| 検査材料 | 検査データに登録のある検査材料を選択可能です。選択画面より選択します。 |
| 菌 | 検査データに登録のある(検出された)菌を選択可能です。選択画面より選択します。 |
| 問題菌 | 登録済みの問題菌リストより選択可能です。ドロップダウンより選択します。 |
| 常在菌を含まない | チェックのある場合、常在菌を除いた集計を行います。 |

選択項目

病棟

診療科

発熱
 発疹
 下痢

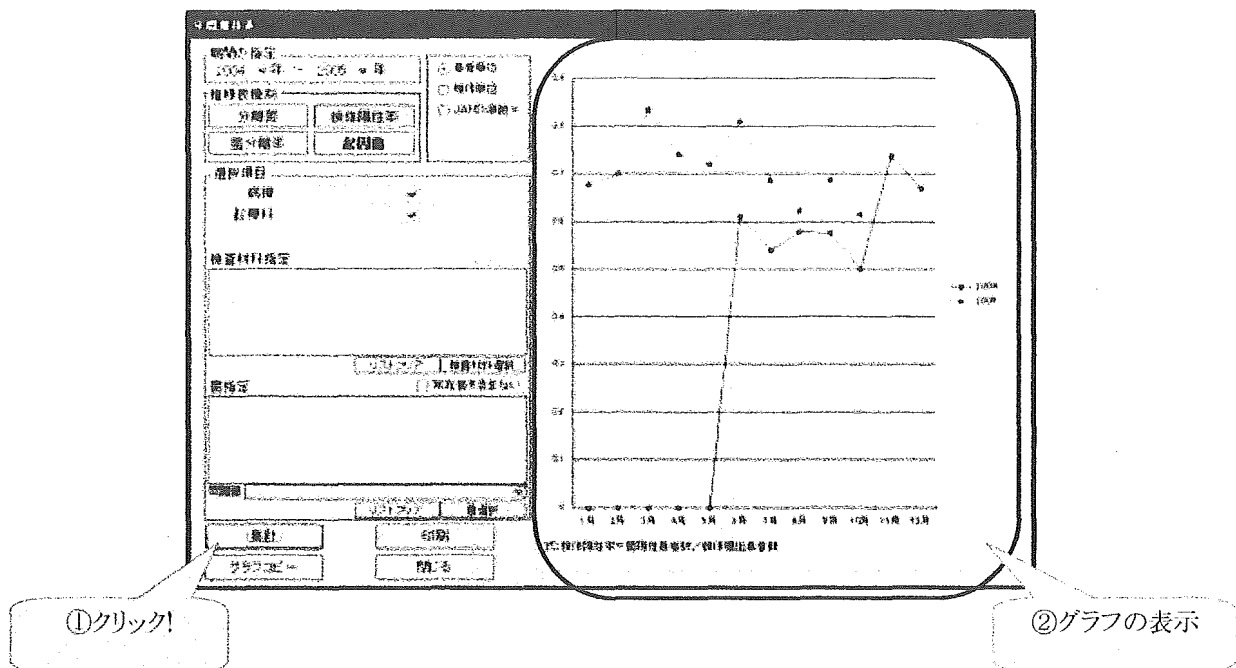
検査材料指定

菌指定 常在菌を含まない

問題菌

④ グラフの表示

出力項目、抽出条件を設定し、**集計** をクリックすることで、グラフエリアにグラフが表示されます。



⑤ その他の機能ボタン(グラフコピー・印刷・閉じる)

グラフコピー をクリックすることで、グラフオブジェクトとしてクリップボードにコピーすることができます。

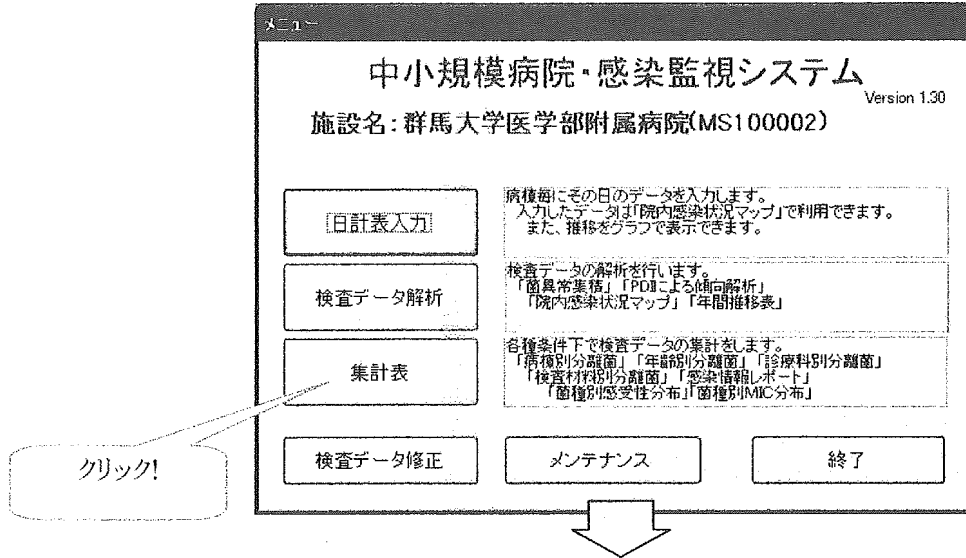
印刷 をクリックすることで、印刷ダイアログを表示することができます。

閉じる をクリックすることで、画面を閉じることができます。

8. 集計表機能

「集計表」は、検査データに対し様々な条件の下での集計を行い、帳票出力、CSV 出力をすることができます。

「メインメニュー画面」の 集計表 をクリックする事で、「集計表メニュー画面」を表示することができます。



集計表出力指定

抽出条件

対象期間: 2004/06/28 ~ 2005/11/08
 性別: [] 病種: []
 入院外来: [] 診療科: []

検査材料: [] 検査材料選択 [] リストクリア []

菌: [] 菌選択 [] リストクリア []

問題菌: []
 起因菌: 発熱 発疹 下痢 常在菌を含まない

薬剤: [] 薬剤選択 [] リストクリア []

感受性: [] 感受性結果が存在するデータのみ集計対象とする

集計単位

患者単位
 検体単位
 JAMS
 総検出数

レポート指定

病種別分離菌
 年齢別分離菌
 診療科別分離菌
 検査材料別分離菌

感染情報レポートは、常に総検出数を集計・出力します。
 感染情報レポート

感受性分布・MIC分布は、常に「感受性結果がある」菌に関して総検出数を集計・出力します。
 菌種別感受性分布
 菌種別MIC分布

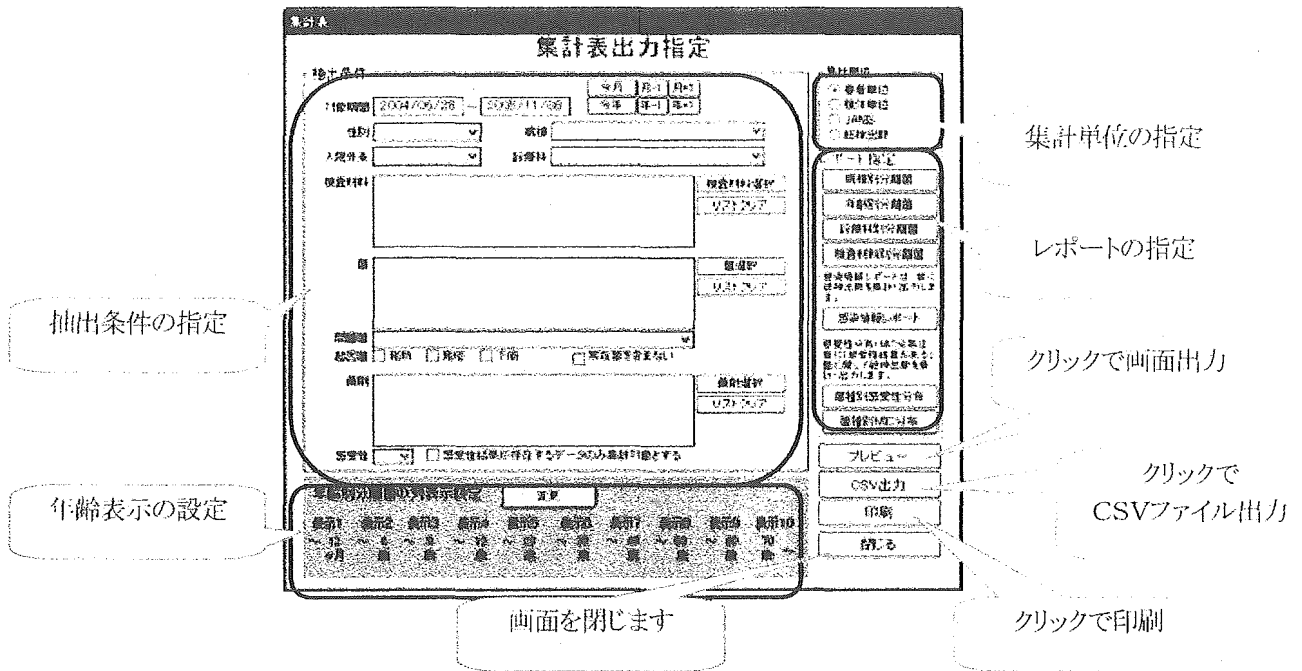
プレビュー
 CSV出力
 印刷

閉じる

年齢別分離菌の列表示設定 変更

| | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 表示1 | 表示2 | 表示3 | 表示4 | 表示5 | 表示6 | 表示7 | 表示8 | 表示9 | 表示10 |
| ~ 12 | ~ 4 | ~ 9 | ~ 19 | ~ 29 | ~ 39 | ~ 49 | ~ 59 | ~ 69 | 70 |
| ヶ月 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 |

I. 集計表メニュー(抽出条件・帳票の選択)



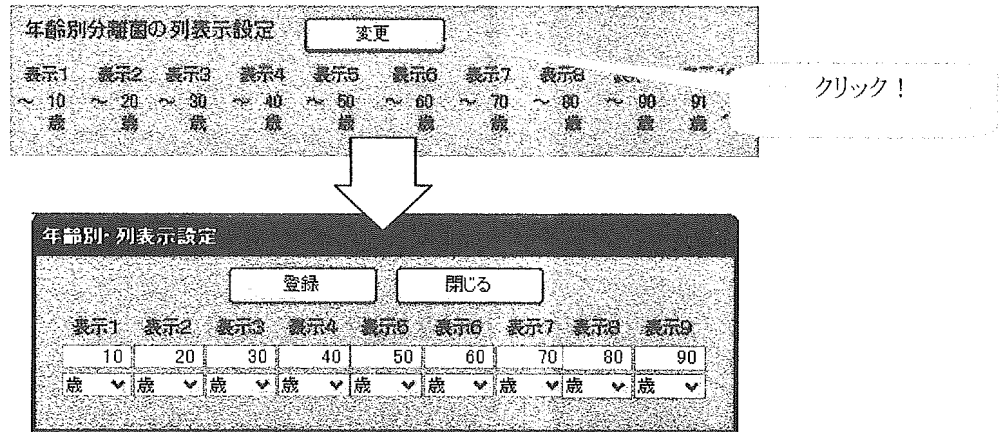
① 抽出条件の指定

抽出条件を指定し、特定の条件下での集計を行います。抽出条件でも「対象期間」の指定は必須です。

| 項目 | 内容 |
|----------------------|---|
| 対象期間 | 集計の開始日と終了日を指定します。設定必須項目です。また、日付指定ボタンによる日付の設定が可能です。 |
| 性別 | 検査データに入力がもののみ選択可能です。ドロップダウンより選択します。 |
| 入院外来 | 検査データに入力がもののみ選択可能です。ドロップダウンより選択します。 |
| 病棟 | 検査データに入力があり、かつ病棟マスタに登録のある病棟のみ選択可能です。ドロップダウンより選択します。 |
| 診療科 | 検査データに入力があり、かつ診療科マスタに登録のある診療科のみ選択可能です。ドロップダウンより選択します。 |
| 検査材料 | 検査データに登録のある検査材料を選択可能です。選択画面より選択します。 |
| 菌 | 検査データに登録のある(検出された)菌を選択可能です。選択画面より選択します。 |
| 問題菌 | 登録済みの問題菌リストより選択可能です。ドロップダウンより選択します。 |
| 起因菌 | 起因菌に該当するデータのみを抽出します。「発熱」「発疹」「下痢」より症状を選択します。 |
| 常在菌を含まない | チェックのある場合、常在菌を除いた集計を行います。 |
| 薬剤 | 検査データに登録のある薬剤を選択可能です。選択画面より選択します。 |
| 感受性 | 検査データに登録のある感受性を選択可能です。ドロップダウンより選択します。 |
| 感受性結果が存在するデータのみ対象とする | チェックのある場合、薬剤感受性結果がある検査データのみ集計対象となります。 |

② 年齢表示の指定

「年齢別分離菌」のレポート選択時のみ有効となります。年齢表示の設定欄の **変更** をクリックすることで、「年齢別・列表示設定画面」を表示できます。



表示1から表示9まで設定可能です。表示1は、指定以下を集計します(表示1が10歳の場合、10歳以下全てが集計対象となります)。表示10は、表示9を設定すると、それ以上という扱いとなります(表示9が90歳の場合は表示10は91歳〜となります。)

表示の設定は上部に数値、下部に区分を設定します。区分は「日」「ヶ月」「歳」の指定が可能です。ドロップダウンより選択します。表示1が10ヶ月の場合は、10ヶ月以下が集計対象となります。

年齢の基準は検査データの「生年月日」と「検体提出日」の項目より算出されます。

登録 をクリックすることで、変更内容が反映されます。

閉じる をクリックすることで、変更内容を反映せずに画面を閉じます。

③ 集計単位の指定

集計を行うにあたり、「集計単位」指定する必要があります。「患者単位」であれば「患者数」、「検体単位」であれば「検体数」と、それぞれの集計で結果が変わります。

※「感染情報レポート」「菌種別感受性分布」「菌種別 MIC 分布」は集計単位が常に「総検出数」となります。

集計単位

- 患者単位
- 検体単位
- JANIS
- 総検出数

II. 各集計表について

① 病棟別分離菌

検査データの項目「病棟」を基に、病棟マスタに設定された「病棟名」毎の菌検出数を算出します。
Y軸に検出された菌の菌コードおよび菌名、X軸に病棟が並びます。X軸には「病院全体」、検査データの項目「病棟」が未入力の場合の「未入力」、病棟マスタに登録のある「病棟名」、病棟マスタに登録のない「病棟コード」の順に結果が表示されます。

② 年齢別分離菌

検査データの項目「生年月日」および「検体提出日」を基に、「年齢表示の指定」で設定された年齢毎の菌検出数を算出します。
Y軸に検出された菌の菌コードおよび菌名、X軸に設定された年齢が並びます。X軸には病院全体の集計の「病院全体」、検査データの項目「生年月日」が未入力の場合の「未入力」、設定された「年齢」の順に結果が表示されます。

③ 診療科別分離菌

検査データの項目「施設診療科」を基に、診療科マスタに設定された「施設独自の診療科」毎の菌検出数を算出します。
Y軸に検出された菌の菌コードおよび菌名、X軸に診療科名が並びます。X軸には病院全体の集計の「病院全体」、検査データの項目「施設診療科」が未入力の場合の「未入力」、診療科マスタに登録のある「診療科名」、診療科マスタに登録のない「施設診療科コード」の順に結果が表示されます。

④ 検査材料別分離菌

検査データの項目「検査材料名」に設定された検査材料毎の菌検出数を算出します。
Y軸に検出された菌の菌コードおよび菌名、X軸に病棟が並びます。X軸には病院全体の集計の「病院全体」、検査データの項目「検査材料名」が未入力の場合の「検査材料未入力」、病棟マスタに登録のある「診療科名」、病棟マスタに登録のない「施設診療科コード」の順に結果が表示されます。
また、「検査材料別分離菌」のみ、レポートの最後に「検査材料名」毎の「提出数」および「菌陽性数」が表示されます。項目表示および数値は、設定された「集計単位」により変化します。

⑤ 感染状況レポート

検査データの項目「A(～J)菌コード」を基に、菌に感染した検体の情報およびその感受性結果を表示します。
集計単位は常に「総検出数」となり、同じ検体から複数の同菌種が検出された場合も集約されません。

⑥ 菌種別感受性分布

検査データの項目「A(～J)菌コード」およびその検査結果である「薬剤コード」、「判定 SIR」を基に、薬剤毎のSIR比を表示します。また、2 ページ以降には、その根拠数字を出力します。CSV 出力を行った場合は、値のみの出力となります。
「菌種別感受性分布」は集計単位が常に「総検出数」となり、「菌」の選択が必須となります。また、感受性結果が存在するデータのみが対象となります。

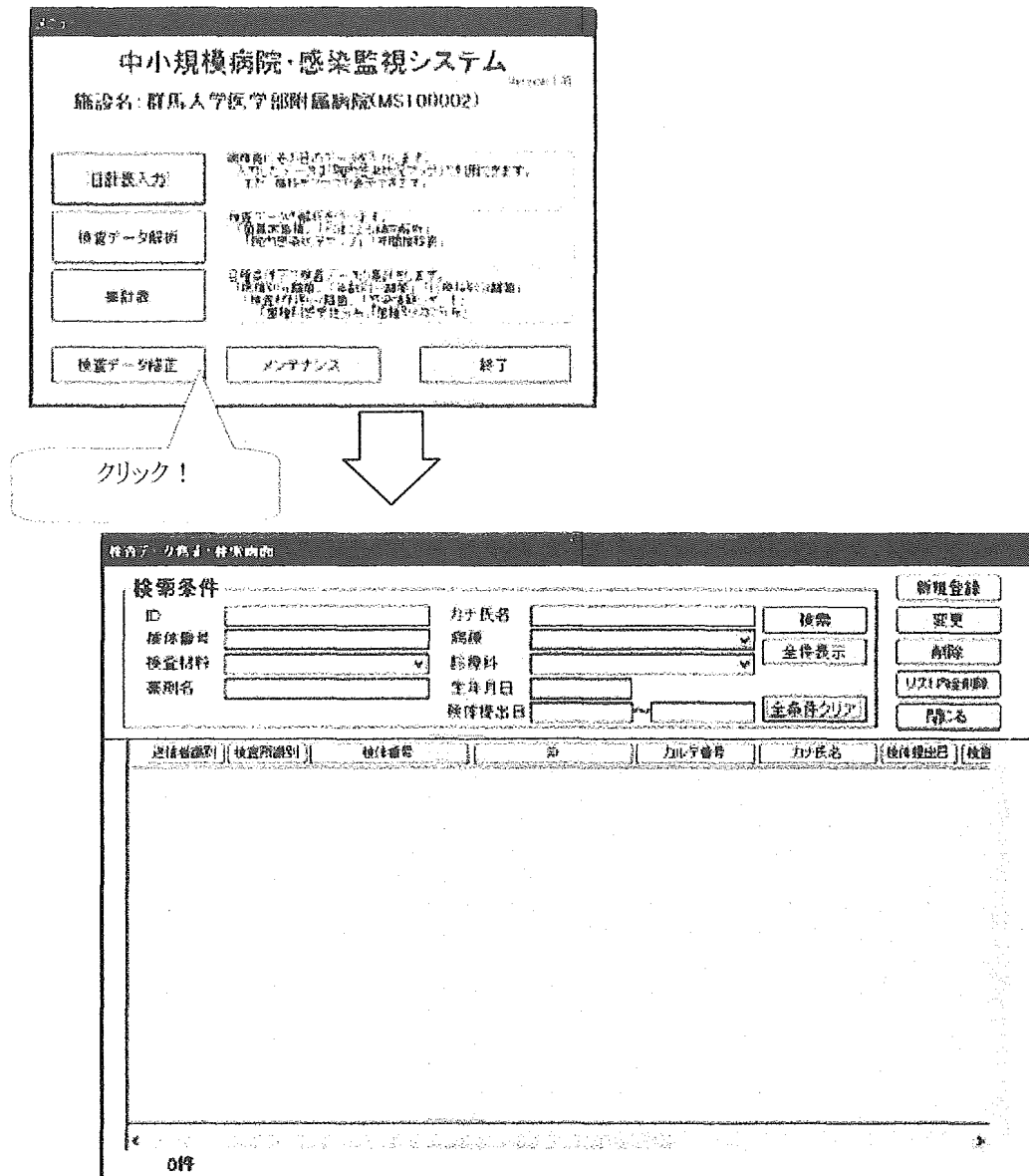
⑦ 菌種別 MIC 分布

検査データの項目「A(～J)菌コード」およびその検査結果である「薬剤コード」、「MIC」を基に、薬剤毎のMIC 値と仕切法を表示します。Y軸には使用された「薬剤コード」および「薬剤名称」、X軸には仕切法のついた MIC 値毎に並びます。
「菌種別感受性分布」は集計単位が常に「総検出数」となり、「菌」の選択が必須となります。また、感受性結果が存在するデータのみが対象となります。

9. 検査データ修正機能

「検査データ修正機能」では、入力された検査データを修正する場合に使用します。

「メインメニュー画面」より 検査データ修正 をクリックすることで、「検索画面」を表示することができます。



I. 検査データの検索～表示

① 検査データの検索

「検索条件」欄に、検査データ修正のための対象絞込み条件を入力します。

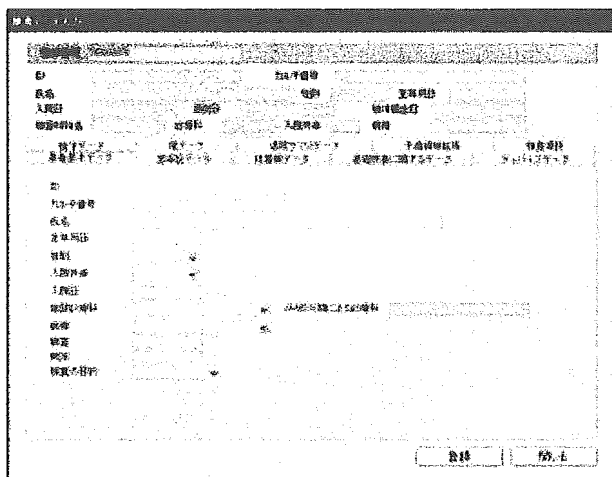
| 項目 | 内容 |
|-------|--|
| ID | 患者 ID を入力します。ここで入力した文字列を含む(任意一致)ID が対象となります。 |
| 検体番号 | 検体番号を入力します。ここで入力した文字列を含む(任意一致)検体番号が対象となります。 |
| 生年月日 | 日付入力で生年月日を指定します。 |
| カナ氏名 | カナ氏名を入力します。ここで入力した文字列を含む(任意一致)カナ氏名が対象となります。 |
| 検査材料 | 検査データとして入力された検査材料を指定します。ドロップダウンリストより選択します。 |
| 検体提出日 | 日付入力で生年月日を指定します。左側に入力すると指定日付以後、右側に入力すると指定日付以前、両方に指定すると指定日を含めた範囲を抽出します。 |
| 薬剤名 | クリックすることで選択フォームが表示され、検査結果データとして報告された薬剤をそこから選択します。 |
| 病棟 | 検査データとして入力された病棟が表示され、そこから選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |
| 診療科 | 検査データとして入力された施設診療科が表示され、そこから選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |

検索 ボタンをクリックすることで、条件に該当する検査データを表示することができます。

全件表示 ボタンをクリックすることで、全検査データを表示することができます。

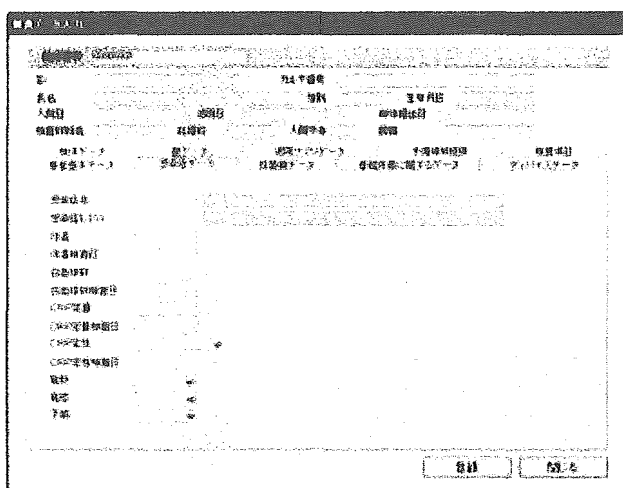
全条件クリア ボタンをクリックすることで、条件を消去することができます。

① 患者基本データ



| 項目 | 内容 |
|-------|--|
| ID | 患者 ID を入力します。 |
| カルテ番号 | カルテ番号を入力します。 |
| 氏名 | カナ氏名を入力します。 |
| 生年月日 | 日付入力で生年月日を指定します。 |
| 性別 | 「女」、「男」、「その他・不明」から選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |
| 入院外来 | 「外来」、「入院」、「不明」から選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |
| 入院日 | 日付入力で入院日を指定します。 |
| 施設診療科 | 診療科マスタに登録のある診療科を選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |
| 病棟 | 病棟マスタに登録のある病棟を選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |
| 病室 | 病室番号を入力します。 |
| 病床 | ベッド番号を入力します。 |
| 検査の目的 | 「モニターリング」、「新規感染症」、「フォローアップ」、「その他」、「不明」から選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |
| 検査の目的 | 「モニターリング」、「新規感染症」、「フォローアップ」、「その他」、「不明」から選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |

② 感染症データ



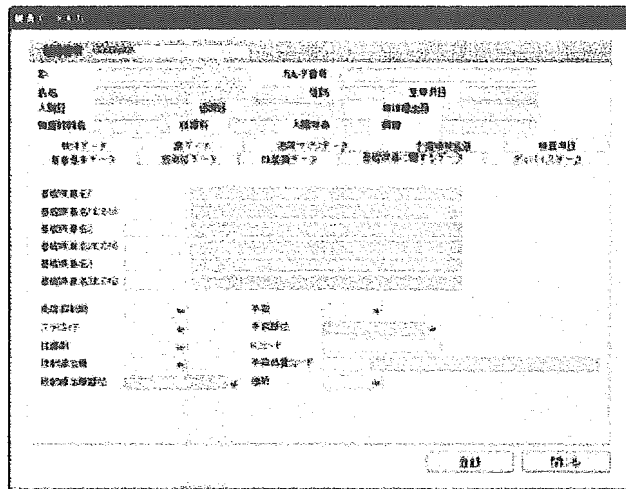
| 項目 | 内容 |
|-----------|--|
| 感染症名 | クリックすると選択画面が表示されますので、JANIS 疾病分類コードを選択/入力します。 |
| 感染症 ICD10 | クリックすると選択画面が表示されますので、ICD10コードを選択/入力します。 |
| 体温 | 体温を入力します。 |
| 体温検査日 | 日付入力で体温検査日を指定します。 |
| 白血球数 | 白血球数を入力します。 |
| 白血球数検査日 | 日付入力で白血球数検査日を指定します。 |
| CRP 定量 | CRP 定量値を入力します。 |
| CRP 定量検査日 | 日付入力で CRP 定量検査日を指定します。 |
| CRP 定性 | CRP 定性をドロップダウンリストより選択します。 |
| CRP 定性検査日 | 日付入力で CRP 定性検査日を指定します。 |
| 発熱 | 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |
| 発疹 | 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |
| 下痢 | 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |

③ 抗菌薬データ

| 項目 | 内容 |
|-------------|--|
| 検体採取時の抗菌薬投与 | 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |
| 抗菌薬投与の有無 | 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |
| 抗菌薬名 | クリックすると選択画面が表示されますので、抗菌薬名コードを選択/入力します。 |
| 投与量 | 投与量を入力します。 |
| 単位 | 投与単位を「g」、「mg」から選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |
| 投与日数 | 投与日数を入力します。 |
| 投与方法 | 投与方法を選択します。ドロップダウンリストより選択します。 |
| 投与開始日 | 日付入力で投与開始日を指定します。 |
| 投与終了日 | 日付入力で投与終了日を指定します。 |

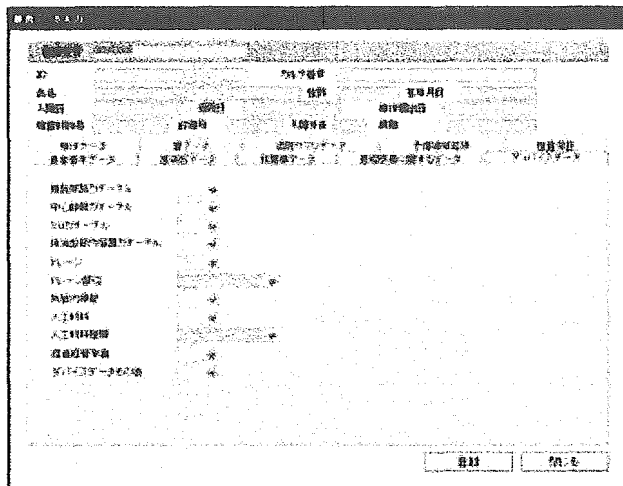
※抗菌薬投与情報は、20 種まで登録が可能です。

④ 基礎疾患に関するデータ



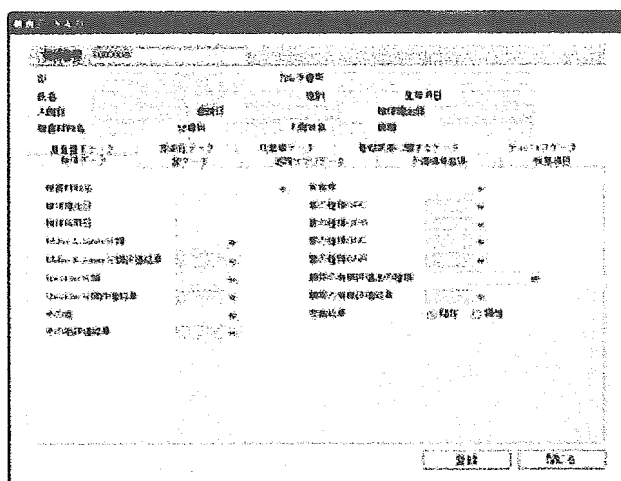
| 項目 | 内容 |
|-------------|--|
| 基礎疾患名1 | クリックすると選択画面が表示されますので、JANIS 疾病分類コードを選択/入力します。 |
| 基礎疾患名1ICD10 | クリックすると選択画面が表示されますので、ICD10コードを選択/入力します。 |
| 基礎疾患名2 | クリックすると選択画面が表示されますので、JANIS 疾病分類コードを選択/入力します。 |
| 基礎疾患名2ICD10 | クリックすると選択画面が表示されますので、ICD10コードを選択/入力します。 |
| 基礎疾患名3 | クリックすると選択画面が表示されますので、JANIS 疾病分類コードを選択/入力します。 |
| 基礎疾患名3ICD10 | クリックすると選択画面が表示されますので、ICD10コードを選択/入力します。 |
| 免疫抑制剤 | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |
| ステロイド | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |
| 抗癌剤 | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |
| 放射線治療 | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |
| 放射線治療部位 | 放射線治療が「あり」のとき、ドロップダウンリストより選択します。 |
| 手術 | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |
| 手術部位 | 手術が「あり」のとき、ドロップダウンリストより選択します。 |
| Kコード | Kコードを入力します。 |
| 手術処置コード | クリックすると選択画面が表示されますので、ICD9cm コードを選択/入力します。 |
| 透析 | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |

⑤ デバイスデータ



| 項目 | 内容 |
|--------------|-----------------------------------|
| 膀胱尿路カテーテル | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |
| 中心静脈カテーテル | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |
| SGカテーテル | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |
| 抹消血管内留置カテーテル | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |
| ドレーン | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |
| ドレーン部位 | ドレーンが「あり」のとき、ドロップダウンリストより選択します。 |
| 気管内挿管 | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |
| 人工材料 | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |
| 人工材料種類 | 人工材料種類が「あり」のとき、ドロップダウンリストより選択します。 |
| 経鼻経管栄養 | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |
| デバイスデータその他 | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |

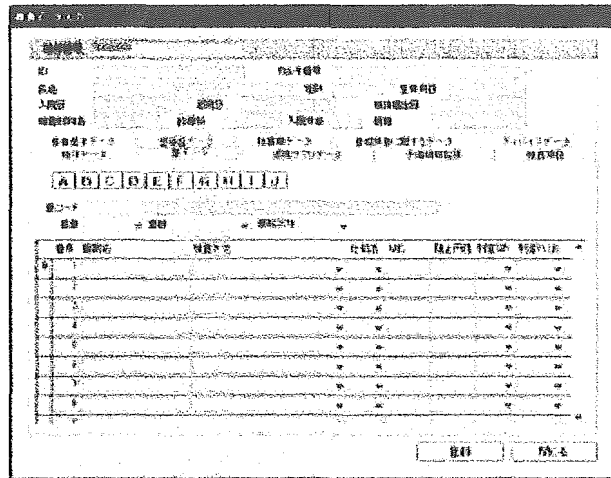
⑥ 検体データ



| 項目 | 内容 |
|---------------------|--|
| 検査材料名 | 検査材料をドロップダウンリストより選択します。 |
| 検体提出日 | 日付入力で検体提出日を指定します。 |
| 検体採取日 | 日付入力で検体採取日を指定します。 |
| Miller&Jones 分類 | 「実施」、「未実施」をドロップダウンリストより選択します。 |
| Miller&Jones 分類評価結果 | Miller&Jones 分類が「実施」のとき、ドロップダウンリストより選択します。 |
| Geckler 分類 | 「実施」、「未実施」をドロップダウンリストより選択します。 |
| Geckler 分類評価結果 | Geckler 分類が「実施」のとき、ドロップダウンリストより選択します。 |
| その他 | 「実施」、「未実施」をドロップダウンリストより選択します。 |
| その他評価結果 | その他を「実施」のとき、ドロップダウンリストより選択します。 |
| 貪食像 | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |
| 菌の種類GPC | 貪食像が「あり」のとき、ドロップダウンリストより選択します。 |
| 菌の種類GPR | 貪食像が「あり」のとき、ドロップダウンリストより選択します。 |
| 菌の種類GNC | 貪食像が「あり」のとき、ドロップダウンリストより選択します。 |
| 菌の種類GNR | 貪食像が「あり」のとき、ドロップダウンリストより選択します。 |
| 膿尿の有無評価法の種類 | ドロップダウンリストより選択します。 |
| 膿尿の有無評価結果 | 膿尿の有無評価法の種類が「未実施」以外のとき、ドロップダウンリストより選択します。 |
| 培養結果 | 「陰性」、「陽性」のいずれかを選択します。 |

⑦ 菌データ

菌データは、「A」～「J」までの 10 種類までセットできます。切替ボタンをクリックすることで、菌の表示を切り替えることができます。また、それぞれの菌について、薬剤感受性結果を 60 種類まで登録することが可能です。



それぞれをクリックすることで、表示、入力を切り替えることができます。



※菌に付帯する情報(10 種類まで登録可能)

| 項目 | 内容 |
|------|---|
| 菌コード | クリックすると選択画面が表示されますので、JANIS 菌コードを選択/入力します。 |
| 菌量 | 「半定量」、「定量」、「その他」をドロップダウンリストより選択します。 |
| 菌数 | ドロップダウンリストより選択します。 |
| 菌起炎性 | 「なし」、「あり」、「不明」をドロップダウンリストより選択します。 |

※菌に対して使用した抗菌薬および感受性結果(それぞれの菌に対し 60 種類まで登録可能)

| 項目 | 内容 |
|---------|--|
| 薬剤名 | クリックすると選択画面が表示されますので、JANIS 薬剤コードを選択/入力します。 |
| 検査方法 | ドロップダウンリストより選択します。 |
| 仕切法 | ドロップダウンリストより選択します。 |
| MIC | MIC 値を入力します。 |
| 阻止円径 | 阻止円径値を入力します。 |
| 判定 SIR | 「S」、「I」、「R」をドロップダウンリストより選択します。 |
| 判定 PLUS | ドロップダウンリストより選択します。 |

⑧ 退院サマリデータ

| 項目 | 内容 |
|----------------|--|
| 退院日 | 日付入力で検体提出日を指定します。 |
| 転帰 | ドロップダウンリストより選択します。 |
| 退院時最終診断名 | クリックすると選択画面が表示されますので、JANIS 疾病分類コードを選択/入力します。 |
| 退院時最終診断名 ICD10 | クリックすると選択画面が表示されますので、ICD10コードを選択/入力します。 |

⑨ 予備拡張領域

| 項目 | 内容 |
|-----------|---------------------------|
| 主治医コード | 主治医のコードを入力します。 |
| 主治医名 | 主治医の氏名を入力します。 |
| 検体番号 | 検体番号が表示されます。(修正、変更はできません) |
| 同一患者識別 ID | 同一患者識別 ID を入力します。 |